

民主島根

2018年
11.4
第1323号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

軍事費減らし、社会保障充実の政治を 参院選で安倍政権退場させよう

益田党支部 福住 参院鳥取・島根 迎えつどい開く

益田市の日本共産党高津支部は10月27日、福住ひでゆき参院鳥取島根選挙区予定候補を迎え、つどいを開きました。地域の住民ら31人が参加しました。党員以外の参加もありました。福住氏は、同市に隣接する山口県萩市にイージス・アショアの配備が狙われている問題や、消費税10%増税など安倍政権の策動を批判し、「軍事費増をストップさせ、社会保障を充実させます。来年の参院選で安倍政権を切り開きます」と話しました。



参加者からの質問に丁寧に答える福住ひでゆき参院鳥取・島根選挙区予定候補（益田市）



中国5県は、中国5県の日本共産党は10月19日、来年の参院選と統一地方選での躍進めざし、各地でいっせい宣伝しました。

政治変えるなら共産党 松江 尾村県議を先頭に街頭演説

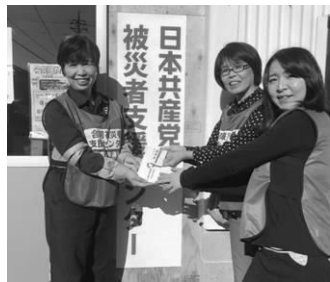
松江市では、尾村利成県議が街頭演説し、「市民と野党が力を合わせれば政治を変えられる。政治を変えたいとの声を日本共産党へ」と呼びかけました。（写真）

安心安全の医療・介護を 県医労連が県に申し入れ

県医労連の森山篤士委員長ら7人が10月23日、県庁を訪ね、医療・介護現場での人手不足により勤務負担が増大している問題で、県に対し、労働環境や人手不足を改善するよう申し入れた。日本共産党県議団が同席しました。（写真）



県医労連の森山篤士委員長ら7人が10月23日、県庁を訪ね、医療・介護現場での人手不足により勤務負担が増大している問題で、県に対し、労働環境や人手不足を改善するよう申し入れた。日本共産党県議団が同席しました。（写真）



西日本豪雨 後藤 出雲市、亀谷 大田市が物資届ける

後藤由美出雲市議と亀谷優子大田市議がボランティアで現地入りし、同センターの須増伸子岡山県議に義援金を手渡しました。（写真）

日本共産党 演説会

11月18日(日)

弁士

前衆院議員

大平 喜信

大國陽介県議もお話します

■午前10時30分～

会場：平田図書館2階・視聴覚ホール

■午後2時～

会場：アクティビカワ



県の担当者は「国に対して実効性ある施策の充実に努められるよう引き続き求めていく。県としても自主的な取り組みをすすめていく」と答えました。

参加者は「ふらふらしながら働くこともある。本場にハードな仕事」「勤務シフトを組むことさえ大変。休日もゆっくりにできない」などの実情を訴えました。

鼓動

将棋の高校生棋士・藤井聡太七段（16）が10月17日、大阪市の関西将棋会館であった第49期新人

王戦決勝3番勝負の第2局で棋士養成機関・奨励会の出口若武三段（23）を2連勝で破り、同棋戦の最年少記録を31年ぶりに更新する16歳2カ月で優勝した▼「しんぶん赤旗」主催の新人王戦は「26歳以下」で「参戦時に六段以下」の棋士や奨励会上位者らで争う若手の登竜門。歴代優勝者には、羽生善治竜王（48）や佐藤天彦名人（30）らがいる。藤井七段は、組み合わせ決定時に「四段」だったが、今年2月から5月の間に段位を三つ上げたため、今回が最後の新人王戦出場となった▼日本共産党は、日本の伝統文化である将棋や囲碁の普及に努めようと半世紀を超える期間にわたって「しんぶん赤旗全国囲碁・将棋大会（赤旗名人戦）」も開催している。島根では10月14日に県大会が開かれ、地区予選を勝ち抜いた23人の棋士が盤上の熱戦を繰り広げた▼今年、将棋の県代表となった来海（きまち）孝之さん（松江市）は元奨励会経験者で三段の実力者。島根県代表は、全国大会の予選突破が難しい状況が続いているが、「今年は期待できそう」と県大会実行委員会事務局長の山口節雄さんは語る▼今年初めて日本共産党本部で開催される全国大会（11月10日～11日）で「赤旗名人」になると、将棋ではプロ公式戦や新人王戦に出場できる特典も。新人王を獲得後、「目の前の一局に全力を尽くしてきた」と藤井七段が語ったように「来海さん、一局に全力を尽くして頑張れ！」（遠）